

郷土博物館・文学館 利用案内

- 開館時間…午前9時～午後5時
- 休館日…月曜日（祝休日に当たる場合は開館）
祝日の翌日（土日祝日に当たる場合は開館）
年未年始（12/28～1/4）
臨時休館日（資料燻蒸等）
- 入館料…大人（個人）200円
大人（団体20名以上）160円
中学生以下無料
障がい者手帳等をご提示の方と必要な介助者は無料
※特別展の場合、別途、特別展料金が設定されます。

詳細は下記ホームページをご確認ください。

●ホームページ [藤枝市郷土博物館・文学館](http://www.city.fujieda.shizuoka.jp/kyodomuse/index.html) [検索](#)

<http://www.city.fujieda.shizuoka.jp/kyodomuse/index.html>

交通アクセス



- 電車・バスの場合 JR藤枝駅（北口・2番線）から静鉄バス「中部国道線」に乗りして約10分、停留所「蓮華寺池公園入口」下車、徒歩7分。

- 自動車の場合
 - 新東名高速道路藤枝・岡部IC下車。県道381号島田岡部線(旧国道1号)経由20分、または県道209号静岡朝比奈藤枝線経由15分。
 - 県道381号(旧国道1号)緑町交差点経由、または国道1号(藤枝バイパス)谷稲葉IC(西方面より)、藪田東IC(東方面より)経由約10分
- ※蓮華寺池公園第1・第2駐車場をご利用ください。

藤枝市郷土博物館・文学館

〒426-0014 静岡県藤枝市若王子500(蓮華寺池公園内)
TEL 054-645-1100 FAX 054-644-8514

平成31年度 展示カレンダー

■は休館日

- 博物館企画展
「昭和レトロ家電展」
- 文学館企画展
「小川国夫と司修 二人が描いた『悲しみの港』」

- 文学館特別展
「没後1年
かこさとし絵本展」
～だるまちゃん・からすの
シリーズから『みずとは
なんじゃ?』まで～

- 博物館特別展
「東海道歌舞伎衣裳展」
～ニッポンが誇る
伝統芸能の美と粋～

- 博物館特別展
「志太の戦国時代展」
～戦国大名今川・
武田・徳川の時代～
- 文学館企画展
「藤枝の古典文学」

- 博物館企画展
「大名・豪商が愛した
伊万里焼展」
- 文学館企画展
「藤枝出身のイラスト
レーター 村松誠展」

- 博物館特別展
「ムットーニからくり
シアター展」
～現代最高峰の
からくり芸術～

□白塗り箇所は展示入替えのため、博物館・文学館常設展のみ開館

2019年 4月 April						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

5月 May						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

6月 June						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

7月 July						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

8月 August						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

9月 September						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

10月 October						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

11月 November						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

12月 December						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2020年 1月 January						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2月 February						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

3月 March						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

※展示会の名称・会期等は都合により変更する場合があります。お出かけの際には電話・ホームページでご確認ください。

2019年度

藤枝市郷土博物館・文学館 年間展示カレンダー



©Jumpei Fukunaga

かぶつちのたちつがしら
古墳時代の頭椎大刀柄頭(藤枝市・原古墳群出土)

誰でも気軽に

楽しめる

博物館・文学館!



バラエティーに富む展示会&講座・イベントを随時開催

2019.4 ▶ 2020.3

4－5月

博物館企画展「昭和レトロ家電展」 | 2019.4.6(土) ▶ 5.26(日)

昭和28年(1953)の国産テレビ発売に始まり、急速に一般家庭へ普及した昭和戦後の家電製品にスポットをあてます。

日本有数の昭和家電コレクター・富永潤さん(昭和ハウス館長)のコレクションを展示し、レトロなデザインで懐かしく、生活を便利にするためのアイデアと知恵がいっぱい詰まった昭和の家電製品を紹介します。家電の移り変わりと進化の歴史を感じて、一大転換期となった高度経済成長期の家庭生活を振り返っていただきます。



レトロな白黒テレビ



三輪自動車ミゼット



デパート屋上にあった遊具

文学館企画展 「小川国夫と司修 二人が描いた『悲しみの港』」 | 2019.4.6(土) ▶ 5.26(日)

小川国夫が『朝日新聞』夕刊に連載した(1991年)代表作『悲しみの港』(伊藤整文学賞受賞)の原稿や、新聞連載を彩った画家・司修の挿画を展示し、その作品世界を掘り下げます。併せて、ユーモアあふれる小川漫画も紹介します。



最終回挿画「悲しみの港(用宗)」司修 画



小川国夫(1927-2008)

6－7月

文学館特別展「没後1年 かこさとし絵本展」 ～だるまちゃん・からすのシリーズから 『みずとはなんじゃ?』まで～ | 2019.6.1(土) ▶ 7.28(日)

国民的な絵本作家・かこさとし(加古里子、1926-2018)の没後1年を記念し、「だるまちゃん」シリーズや「からすのパンやさん」などの代表的な絵本の画や下絵を展示します。併せて、静岡県下田在住の鈴木まもるさんに絵を託した遺作『みずとはなんじゃ?』の原画も紹介します。科学的視点を盛り込んだ絵本、日本の伝統文化を伝える絵本等、かこさとしの絵本の魅力を紹介します。



かこさとし(自宅書斎)

『だるまちゃんといんぐちゃん』
(福音館書店)『からすのパンやさん』
(かこさとし・作/絵 偕成社)

8－9月

博物館特別展「東海道歌舞伎衣裳展」 ～ニッポンが誇る伝統芸能の美と粋～ | 2019.8.3(土) ▶ 9.23(月・祝)

東海道沿いの駿河・遠江(伊豆を除く現在の静岡県)は、江戸時代に22の宿場があり、豊かな街道の歴史・文化が開きました。本展は、県内初の本格的な歌舞伎衣裳展となります。県内を舞台とした「寿曾我対面」・「白浪五人男」や、藤枝や志太地域ゆかりの「助六」・「藤娘」・「熊谷陣屋」・「鳶紅葉宇都谷峠」・「朝顔日記」などの作品を取り上げます。豪華絢爛な歌舞伎衣裳を通して、東海道とゆかりが深い「江戸歌舞伎の精華と魅力」を紹介します。



「藤娘」片身替りの衣裳



「助六由縁江戸桜」三浦屋揚巻の衣裳

10－11月

博物館特別展「志太の戦国時代展」 ～戦国大名今川・武田・徳川の時代～ | 2019.10.5(土) ▶ 11.24(日)

西駿河に位置する志太地域は、室町時代、戦国大名今川氏の安定した領国支配下にありましたが、1570年(元亀元年)、武田信玄の山西侵攻により武田家の領有となり、以後、武田と徳川の激しい争奪戦がくり広げられました。今川・武田・徳川という東海地方の戦国大名が覇を競った志太地域の激動の戦国時代について、様々な歴史資料や古文書などで紹介します。



天文五年(1536)の花蔵の乱の戦功を賞した今川義元自筆書状(岡部家文書)

文学館企画展「藤枝の古典文学」 『万葉集』『伊勢物語』から『東海道中膝栗毛』まで | 2019.10.5(土) ▶ 11.24(日)

奈良時代の『万葉集』、平安朝の『伊勢物語』から、中世の紀行文、江戸時代の『東海道中膝栗毛』まで、藤枝や志太地域と関係する古典文学の世界を紹介します。

12－1月

博物館企画展「大名・豪商が愛した伊万里焼」 | 2019.12.7(土) ▶ 2020.1.26(日)

鍋島焼は、関ヶ原の戦いで西軍についた佐賀藩鍋島家が生き残りをかけて、生産性や経済性を度外視して徳川将軍家や幕府要人に献上した最高級の焼物です。江戸時代前期から200年余りにわたって焼成されました。

伊万里焼は、元和年間の中頃(1620年頃)、日本で初めて焼かれた磁器で、有田近郊の「伊万里港」から日本各地に船積みされたことから、積出港の名をとって「伊万里焼」と呼ばれ、海外へも輸出されてヨーロッパで珍重されました。豪華絢爛な鍋島焼と伊万里焼をご鑑賞ください。

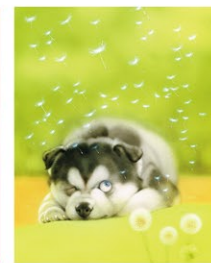


12－1月

文学館企画展 「藤枝出身のイラストレーター 村松 誠展」 | 2019.12.7(土) ▶ 2020.1.26(日)

藤枝市出身の村松誠(1947～)は、1979年より小学館『ビッグコミックオリジナル』の表紙イラストを担当し続け、40周年を迎えます。

コミカルな猫のイラストは「村松ネコ」の愛称で親しまれ、1999年には第45回小学館漫画賞特別賞を受賞しました。村松ネコ誕生から40周年を記念して、村松氏のイラスト原画を展示し、藤枝出身で全国的な知名度で活躍する村松誠の画業を振り返ります。



©MAKOTO MURAMATSU・SHOGAKUKAN

2－3月

博物館企画展 「ムットーニからくりシアター展」 ～現代最高峰のからくり芸術～ | 2020.2.1(土) ▶ 3.29(日)

自動からくり人形作家「ムットーニ」こと武藤政彦(1956～)は、30年以上、電動式からくり人形を作り続け、他に類のない「ボックスシアター」スタイルを確立しました。人形と装置の多様な動きに合わせ、音楽と光、語りが重なり合って物語がつむがれるムットーニのからくりアート作品は、数多くのファンを魅了しています。静岡県中西部では初めての開催となる本展を通して、現代最高峰と評されるムットーニのからくりボックスシアターの魅力をお楽しみください。

